

# 生涯教育研修活動報告書

一般 検査研究班

- 1 実施日時：2021年6月11日 19時00分～20時00分
- 2 会場：WEB開催 点数：専門教科—20点
- 3 主題：腎臓が好きになる①～腎臓の基礎～
- 4 講師：藤村 和夫（埼玉県済生会川口総合病院）
- 5 協賛：なし
- 6 参加人数：会員 141 名 賛助会員 0 名

7 出席した研究班班員：藤村 和夫 小関 紀之 柿沼 智史 佐々木 菜緒  
渡邊 裕樹 中川 禎己 小針 奈穂美

## 8 研修内容の概要・感想など

はじめに、本研修会では、通信障害の発生により、講演が聞き取りにくい、途中で画像が止まってしまうなどの不具合が生じてしまい、参加して頂いた会員の皆様には、大変なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。

今回の研修会では、腎臓の基礎ということで、腎・尿路系の解剖と機能から、関連する病態について藤村氏にお話しいただいた。

ナットクラッカー症候群は、左腎静脈が腹部大動脈と上腸間膜動脈に圧迫されることで発症し、腎臓からの出血であるが非糸球体型赤血球が認められ、鑑別すべき疾患として尿路結石症が挙げられた。尿沈渣で尿路上皮細胞の出現や結晶の出現がこれらの鑑別のポイントとなるが、画像検査で左腎静脈の圧迫像を認めることが、とても重要とのことであった。

尿路結石症では、結石が尿管を通過する際、通過しにくいとされる狭い場所が3か所存在し、この箇所結石が挟まると非常に痛みを強く感じる。このような場合は尿沈渣中に尿路上皮細胞の出現や出血が少なくなり、ナットクラッカー症候群との鑑別が難しくなると思われたが、自覚症状が乏しいナットクラッカー症候群との鑑別に、患者自身の自覚症状も有効だと考えられた。また、この疾患も画像検査で結石の大きさを確認する事、水腎症があるなしで治療が変わってくる事より、改めて画像検査の重要性を感じた。

腎臓の機能に関して、尿の生成・血圧の調節・ホルモンの産生など幅広く説明されていた。中でも、慢性腎機能不全を発症した場合、二次性甲状腺機能亢進症を発症する割合が多く、

この疾患に対する治療法や管理方法など分かりやすく説明されており、とても勉強となった。  
腎・尿路系の解剖や機能から病態を考える機会はあまりないため、とても有意義な研修会であった。

提出日 2021 年 7 月 5 日

文責： 小針 奈穂美